

一歩

社会福祉法人 アルカディア
令和3年10月 発行 第37号



「最近感動したこと、自分の好きなこと」



地域活動支援センターふらっとの利用者さん3名に
インタビュー①

「今の自分、病気以前の自分の好きなことの変化などについて」

Aさん

昔は電車に乗ることが大好きでした！あとは数少ない自慢話なのですが、芸能人と遭遇することがたまにある仕事をしていたので遠目で当時のスターなどを見てはしゃいだりもしていました（笑）

今は家にいることが多いのですが、たまに買い物へ行き服や靴などを買う事や外食をする時間などはとても好きです。心が癒される感じがしますね。



あとは当時働いていた時に「おもてなしの心」が一番大切なんだと病院の職員から熱心に指導してもらった思い出がありますが、今でもたまに「優しいね」という言葉や「気遣いが上手」なんて褒めて貰えることがあります。今でもそうってもらえるのは、当時のそういった経験が病気になっても変わらず生きているのかなと思います。

地域活動支援センターふらっとの利用者さん3名に

インタビュー②

「今の自分、病気以前の自分の好きなことの変化などについて」

Bさん

今だと友人と一緒に話をしたり、食事に行ったりする時間が好きです！

昔は若かったのもありますが、自分本位な考えをしていたなーと思いますね。病気で入院になる前とかは、後先考えずヤンチャなことをたくさんしていたなーと(笑)

始めて入院した時もそれまであまり病院へ行くこともなかったため、必要性が分からず納得がいかず苦しいと思うこともありましたが、今考えると病院に行ってよかったなと思います。病気になる前の生活も悪くなかったとは思いますが今の生活も楽しいですからね。

あとは「お金の余裕は心の余裕」という言葉は本当にその通りだと思う。昔は金銭が厳かったのもあって楽しいことが少なく無気力で生きていることが多かったですね。今は少しずつではありますが貯金をしているおかげで穏やかに過ごせているなーと思います。

Cさん

振り返ってみると今の方が楽しいんじゃないかなって思いますね。病気になる前は働く時間が長く、常に仕事のことで頭がいっぱいで楽しいと思える時間や自分の好きな時間というものがほとんどなかったような気がします。

今は関わってくださっている支援者の皆さんが、「疲れたらゆっくり休んだ方がいいよ」など優しい声掛けをしてくださっているおかげもあり、以前よりも自分のペースで生活できている気がします。なので、自分の無理のない範囲でのんびり生活すること、知り合いと何気ない会話をするなどがとても楽しく感じます。ただ日々幻聴には悩まされているので、それがなければな…とは思っています。



援護寮はばたきの利用者さん3名にインタビュー①

「最近、感動したこと」「自分の好きな時間」について

Dさん

最近、感動したことは特にはないですね～。心動いたこととかもあんまりないですね～。余暇の時間とかも土日とかも部屋でボーっとしてたり休んでたりしますね。生活してて今はあんまり面白くないというかつまんないですね～。

自分の好きな時間は自宅に居た時にゲームしてたときですね～そのときは働いてなかったんで16時間くらいはやってました(笑) 楽しかったです。あとは、パチンコを打ってた時ですね。パチンコの事とかをyoutubeで調べてるときとかも楽しかったですね。台の紹介とか、出玉の勝負とか、新台の情報とかが出た時は必ずチェックしてましたね。

援護寮はばたきの利用者さん3名にインタビュー②

「最近、感動したこと」「自分の好きな時間」について

Eさん

最近感動したことは、SEKAI NO OWARIの「プレゼント」という曲を聴いたりMVを観たりして涙を流しましたね～。なんか感動する曲で気づいたら涙を流してました。あとは心動いたことで、はばたきの他のメンバーさんの考えの緻密さにびっくりしました。食材とか自炊の献立とかお金の管理とかしっかりと書いていてすごいなーって思いました。自分は金銭の出納帳とか献立とか料理はザックリとやってるからそこまでしっかりと書いているのを見ると尊敬してます。

自分の好きな時間は他のメンバーさんと音楽を一緒に聴いたり、お互いの好きな音楽をおススメしてます（笑）一緒にセブンイレブンとか行ってます。話が合うので一緒に過ごす時間は楽しいですね～。あとは暇なときは自分の部屋でヨガをやったりガンブラを作ったりしている時は落ち着きますね～。最近ヨガはあまりやらなくなっちゃったんですけど（笑）

今の自分は昔と比べてずいぶん友達が増えましたね～。21歳頃は自分だけ変なのかな？変わっているのかな？って思ってたんですけど、病気になって入院したときに周りはスタッフと患者さんという2種類の括りしかなかったので変に気遣うことなく自分が思っていた垣根はなくなりましたねー。なので今は昔と比べてだいぶ気が楽なこともあります。入院は辛かったんですけど（笑）



Fさん

最近感動したことは一、自分の書いたノートをストックの人に読んでもらったことですかね～。けっこうわがままを聞いてもらって助かってます（笑）他は、感動ではないんですけど、心動いたこととしては、これからプログラムで買い物ツアーとか外出する機会も増えそうなので楽しみにしています。いままでなかなか外出の機会が減っちゃったので。。。

はばたきに入ってから他の人たちと関わることが多いので良い刺激になってます。人間関係は大切だなーとどうしたら良いかなーとかいろいろ考えてます。お風呂の時間とかもあったりしてしっかりと守らないとなーとか一人で考えることが増えましたね。

自分の好きな時間はさっきも言っていたんですけど一人でこれからのこととかを考えている時は好きですねー。でもそういったことをスタッフに相談することも多くて助かってます。一人で考えててもわからないこととかも多くて困るんですよ～。ノートとかにまとめて書いておいてあとで相談するときに使ってます。

入院する前、自宅に居る時は趣味として小遣いをダイソーにつぎ込んでましたね（笑）チェーンとかよく集めてましたね～。バンダナは24色あるんですけど全部集めましたね。なんか収集癖があるんですよ（笑）でもダイソーで買ってる時は心地よくて好きですね。

感動と涙としあわせ

～心の響きは宇宙の無限へ解き放たれる～

●最初の話は、随分昔のこと。高校二年生のとき映画＜禁じられた遊び＞（1950年代初頭の作品で流れるギターは余りにも有名）を観た。

（彼女と二人で…。ドキドキ、ワァーオ！もうこれだけで感動。弱冠、17歳。若かったなあ）。さて映画は第二次大戦中、ドイツ軍の空爆で両親を失った少女（ポートレット）偶然、少年（ミシェル）の家族と暮らすことになる。戦争がもたらす＜せつなさ・悲惨さ＞、それでも生き抜く庶民の＜たくましい日常＞がさりげなく進んでいく。ミシェルは、両親が亡くなったことも忘れたかのように、無邪気に振舞うシーンが印象的だった。ミシェルとポートレットは、両親の墓をつくり、十字架を立てるため墓地から盗み出す。大人たちは＜なんて罪深いことを！＞嘆き、怒る。悪げない二人は、大人たちの犯している戦争という＜罪＞を問うているように感じられた。

ある日、ポートレットが施設に行くことになる。ラストシーン。待合室で少女は突然、「ミシェル！」と叫びながら、雑踏の中へ消え去っていく。この映画を観たあと、数週間、ジワジワと押し寄せる感傷的な匂いと衝撃的な地鳴りのような音。＜なんだ、これ！＞…映画では＜反戦＞を描く場面、セリフの一言もないのに。＜戦争は、絶対やってはいけんのぉー！（岡山弁）＞という理屈抜きの思いが心に刻み込まれた。確かにそう心が感じたのだ。＜不思議な感動的体験＞だったことが蘇（よみがえ）る。今、振り返るに、その後、私の人生の道標（みちしるべ）となったかもしれない。この映画ひとつによって…ただそれだけのために…。

●二つ目。これ最近のこと。4歳になる孫娘が、メモ用紙に何かを書き、私の部屋の壁にテープで貼り付けていった。＜似顔絵と寄せ書き＞。じっと見つめる。似顔絵は決して似てないが横に＜じい だいすき＞のメッセージ。思わず、目頭から水の雫（しずく）が頬にしたたる。ジワァー、ポツ、ポツ、ポロッ、ポロリ…。＜とるに足らない＞ことなのだが…。＜アホな！これ、ゴツイ感動もんやんか（大阪弁でテレ隠し？）＞。皆さん、年齢を重ねるごとに涙腺は緩んでくるのです。このことはその後、何も言わないので、＜言葉はいらない＞と勝手に思い込んでいる。もちろん、毎日見ていて飽きない。そのたび…後は想像にお任せします。私は「シアワセモン」だと思つづくと思う。

【中田 駿】



編集後記

今回は「最近、感動したこと」、「自分の好きな時間」、「今の自分、病気以前の自分の好きな事の変化などについて」などを各事業所で関わりのある利用者さんにインタビューさせて頂きました。インタビューを通して人生の経験や日頃の楽しみの部分、やりがいのあること等知ることができました。人それぞれの生活環境の中で楽しみ方やこだわりを持って生活していると感じました。インタビューに応じていただいた利用者の皆様、ご協力ありがとうございました。

編集委員会

法人本部：群馬県太田市鶴生田町733-123
TEL：0276（20）2509 FAX：0276（20）2510
ホームページ：http://arcadia-gr.com/